

行政視察報告書

令和6年2月19日

長浜市議会議長 中川 勇 様

長浜市議会議員 村山 さおり

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度 つなぐ長浜行政視察
2. 視察期間 令和6年2月13日(火)～2月14日(水)
3. 視察場所及び目的
 - ①広島県福山市 ・常石とともに学園の取組について
 - ②兵庫県姫路市 ・太市駅周辺整備事業について

4. 調査内容感想等

・視察の目的

① イエナプラン教育を取り入れた公教育の現状を知り、福山市の取組を学び当市の公教育の改革に役立てたい。

② 行政・企業・地域協働により開発された太市駅周辺について聞き取り、南長浜の発展にも活かさないか探る。

・視察の内容

① 広島県常石とともに学園

2016年にスタートした『福山100NEN教育』のことや、常石とともに学園について、校長と教育委員会事務局の方から説明を聞く。

1～3年生と4～6年生の異年齢集団によってクラス編成されている。対話・遊び・仕

事（ブロックアワー）・仕事（ワールドオリエンテーション）・催しの4つの基本活動に基づいた時間割が作られている。授業も座っての一斉授業ではなく、自分自身で何を学ぶか決める。先に進んでいく子どもあれば、学び直しをする子ども。子どもたち自ら探求的な学びをしていることで、得た経験や知識を自分のものに行っていることがわかる。

地域の人たちとの関わりも深く、さまざまな活動で学園サポーターが手伝ってくださり、夏祭りやクリスマス会を企画してくださる『つねいし日和』という企画賛同者によるグループもある。

校内を案内してもらおう中で、家庭科室をカフェとして開放しておられ、地域にも開かれた場であることがわかる。子どもたちはそれぞれの好きな場所、好きな体勢で授業時間を過ごしている。先生は教えているというより、子どもたちのサポーターという感じ。子どもたちは年間を通して3時下校。先生たちはその後の時間を授業研究の対話に費やしておられるとのこと。

とてもワクワクする図書館は、ともに学園だけでなく、福山市の小中学校に広がっていて、子どもたちの読書率は向上したそう。視察を終えるとグラウンドで遊ぶたぐさんの子どもたちの姿があった。学校とは本来このような子どもたちが大好きな場所であるべきだと痛感した。

② 兵庫県姫路市太市駅

一見、とてもきれいな駅舎に見えるが、JRの部分は改札のところだけだった。隣接するカフェや物産展の建物は、2階に事務所を構える民間企業（運送会社）のもの。

建物二階部分には『太市駅』の文字も。ロータリーの真ん中には花壇があり、その世話は地元の有志の方が担っておられるが、水道の設置や水道料金は企業が負担されていて、さらには駅利用者にも使いやすいようにと建物外側にトイレを設置されていた。

駅を中心とした街づくりは『太市創生会議』という地元が主体となり、そこに社屋建て替えを考えておられ、地域への賑わい作りに貢献したい企業が賛同され実現した。別の養鶏業の企業は通勤しやすい駅前に鶏卵包装工場を建設され、地域の雇用も拡大した。

姫路市は『特定指定区域制度』を活用したりと、制度的な部分を担っていた。

地元主導の街づくりに思いのある企業が賛同したという理想的な発展を遂げた。

当日もカフェは賑わっており、地域の人とのコミュニティスペースとしても貢献していることが見て取れた。

・行政視察の結果を本市議会にどのように反映させるか

①教育委員会の方になぜ実現したかを聞いたところ、教育長の思いの強さが一番だと思うと言われた。常に学校をまわっておられ、校長先生や教員に思いを伝え続けておられるらしい。

今回の学びを教育長と共有できる場を持ちたいし、議会の質問に活かしていきたい。

②南長浜の街づくりに活かすためにも、当局担当課とも共有し、田村駅周辺の発展につなげたい。